



LINE公式アカウント
組合のお得な情報や
組合の登録を
ぜひお申し込み
ください。



発行所
東京土建一般労働組合三鷹武蔵野支部
東京都三鷹市上連雀7-33-8
電話 0422(47)9101
Fax 0422(47)9104
発行責任者 竹内 敦

第12回定期大会開催

要求実現で仕事と暮らしを守ろう

第12回三鷹武蔵野支部定期大会を4月19日(日)に三鷹市公会堂さんさん館で開催しました。
大会は来賓・代議員・特別代議員合わせて114人が参加しました。
最初に島村委員長より挨拶、「物価高騰が止まらない状況が続いています。材料が

さらに仲間を集め組合を大きくしていきましょうとあいさつ。「組織面では2000人支部回復に向けた実増を勝ち取って行く」と、発言がありました。
来賓として三鷹市長代理として馬木副市長があいさつ「ドローン協定を境に組合の皆様との繋がりが強まってき



2000人支部回復めざしガンバロウ

組合の仲間を増やす「春の拡大月間」はいよいよ終盤を迎えようとしています。
4月末日までの加入到達は29人、1・47%となり、前年同期(31人、1・57%)から大きく遅れておりここからの巻き返しが必要な状況です。
この月間の重点である「70

春の拡大後半戦 仲間の力で達成を



要求実現に向け、組合を大きくしていこう

議、共闘団体から来賓が訪れ、私たちの運動への理解が示されました。
分科会では活発な意見が出て、分会や各専門部を復活にして、2000人支部回復に向けて団結していくことを誓い合いました。
(26年の活動方針詳細は2面・3面)

- ### 参列された議員・関係諸団体
- ◇東京土建本部
渡辺 義久副委員長
 - 調布支部
佐藤 眞理子執行委員長
三鷹市副市長
馬木 賢一
衆議院議員
福田 かおる
東京都議会議員
中村 ひろし
山田 ひろし
笹岡 ゆうこ
三鷹市議会
公明党
大倉 あき子
立憲民主緑風会
岩見 大三
日本共産党
栗原 けんじ
武蔵野市議会
立憲民主ネット
菅 源太郎
日本共産党
 - 橋本 しげき
無所属むさしの
山本 ひとみ
共闘団体ほか
武三地区労議長
柳瀬 茂喜
劇団前進座
村嶋 真紀雄
三鷹民主商工会事務局長
藤沢 時雄
武蔵野原水協理事務局長
中田 正雄
武蔵野法律事務所
三村 伸之 弁護士
日本年金者組合三鷹支部
印南 泰成支部長
北多摩中央医療生協
君塚 雄二理事長
税理士法人 町田税経セン
舟渡 豊治税理士
(紙面の都合上敬称を略させていただきます)

分会	1月人員	4.0%	前日成果	成果計	4.0%残	6.5%残
井の頭	38	2		1	1	2
牟北	196	8		2	6	11
新・中	157	7		5	2	5
連雀	225	9		3	6	7
深大寺	98	4		2	2	5
大沢	143	6		1	5	10
吉祥寺	110	5		2	3	★-5
武・中	318	13		6	7	1
関前	132	6		2	4	7
境南町	47	2		0	2	4
直・事	513	18		5	13	15
合計	1,977	80	0	29	51	62

4月末日現在

林 二百歳まで生きると言っていた義父が、先日九二歳で亡くなった。▼あんな達世話にはならんと言っていた熊本生まれの頑固な人だ。▼充分長生きした方だと思いが、本人の目標には届かず残念だったかもしれない。結局、出歩けなくなると、娘夫婦や介護ヘルパーの手を借り、訪問診療にも来てもらう事になり誰かの世話になっている。人の手を借りずに最後まで難しい。義父のおかげで体験させてもらったケア施設やショートステイ、老人ホーム、見取りのできる施設。何れ所もお世話になったが、条件の合うところにはまらず空きが無く、順番待ち。そしてどこも人材不足で対応も追いつかない状況。ほとんどの施設に募集の看板が貼ってあった。▼大変な仕事の割に見合う賃金が出ていないという我々建設業界と似た状況。ますます高齢化が進んで介護が必要になるけれど、施設を作ってもそこで働いてくれる人がいなければ受入もできない。人材の集まる魅力ある環境づくり、制度の見直しは何度でも必要。私の世代は家族も多く、親を見送ることも先祖の墓を守るのも当たり前だったが、最近足跡取りもなくなってきた。▼先祖の墓があれば墓じまいするという人も増えた。私の故郷も限界集落。いずれ無くなる。

仲間の団結で組織建設3ヶ年計画2年目を成功させよう! 要求実験に向けた運動を前進させ、建設労働者・建設産業に魅力ある未来を切り開こう!

支部定期大会にご参加いただけなかった組合員のみなきに向けて、第12回支部定期大会にて承認された2026年度の活動方針を掲載いたします。(紙面の都合上一部省略させていただきます)

今年度も引き続き、東京土建の諸活動へみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

2026年度活動方針



渡邊書記長

(一) 各分野の取りくみ

1. 建設アクション・要求実現アクション運動

仲間の要求や困りごとを把握しその問題解決を目指す相談活動と制度政策実現のための自治体要請を仲間の要求実現のための運動として位置付け取りくみます。建設産業および従事者は地域の経済と生活インフラ、防災減災における対応において必要不可欠な存在であることを強調し、三鷹市・武蔵野市ではすでに位置づけられている主要な産業として具体的な建設産業支援策の創設・拡充を求める取りくみの土台をつくっていきます。

(二) 要求実現アクション

2026年の要求実現アクションはこれまでの組合方針の理解と協力につながる議員・会派が増えるよう発展させていきます。

要求実現アクションは①自

建設国保の安定運営に向けて補助の現行水準を確保し、一人当たりの増額を目指すハカキ要請行動を強化していきます。300%突破分会、400%達成分会が前年以上となるよう家族を含めた組織内の仲間全世帯の取りくみとして位置づけ協力幅を広げていきます。

自治体や議員との懇談に取りくみ、より組合への理解と協力につながる関係をつくる。②選挙が行われる際には、候補者に東京土建の方針に対する見解と回答をもとめる。③仲間が組合の方針や自身の要求に理解を示す議員・会派であるかを見極める材料として、前記の回答や公に表明している公約を提示し投票を組織的に呼びかける。これらを基本に、要求を実現するための重要な取りくみ要求実現アクションとして多くの仲間の参加で大衆的を推進していきます。

2. 健康保険一元化阻止、土建国保を守り抜く運動強化

財務省による国保組合補助制度改悪の議論や厚労省における保険料の一元化の議論、マイナ保険証の実施など医療保険一元化につながる流れに對して、建設国保は「いのちと健康の綱」であること、そして「職業病」への対応で建設従事者に必要であることなどを地元国会議員要請や都議会議員賛同署名の取りくみを通じて伝え、建設国保組合への理解と支援を求めていきます。

3. 仲間の請求・要求の実践に向けた環境づくり

2025年12月にガイドラインや政省令に現場の実態を踏まえた標準労務費や資材高騰におけるリスクに対する契約書の記載などルールが示されました。2026年は法律で示されたルールを事業者と労働者に周知し、適正な労務費と賃金、法定福利費とともに安全経費、建退共を含む適正な経費を求める請求・要求・交渉運動の実践となりま



建設アスベスト被害根絶の運動は、東京1・2陣でのアスベスト建材複数メーカーとの和解成果を地域に広げるとともに、最高裁判決で救済の対象から外された屋外や解体改修作業の被害者、違法期間外の就労者の判決を覆していくため、毎月の駅頭宣伝を中心に世論形成を構築していきます。

また、アスベスト被害に向けた事前調査と除去作業に係る費用に対し、まずは不十分な国や都の対応を補うよう、自治体の補助制度創設を市長懇談や会派懇談などを通じて訴えていきます。

5. 地域貢献活動による住民自治体との信頼関係づくり

住宅デーは毎年の継続的な取りくみによって地域・住民に根差されていきます。引き続き全分会での実施を目指し、地域との信頼関係づくりと仕事確保はもちろん、後継者世代や新たな仲間の「出番づくり」の場とする組織的な位置づけにもしていきます。

6. 技術技能の向上と処遇改善に向けたCCUSのビジョンを示し、産業と組合の担い手確保を進めよう

資格取得は建設労働者の技術・技能のレベルの高さを客観的にはかる事ができ、施工や発注者からの信頼を得るためのツールとなります。また、CCUSのレベルアップ判定と密接に関連し、建設職人の処遇改善にも直結していきます。2026年度も資格講習受講率4%を目指すとともに、受講率引き上げを後押しするために年2回の支部講習会を設定し、拡大行動と連携させながら受講呼びかけを強化していきます。また、仲間が講師となって開催する支部講習会の幅を広げていくためにも新たな講師発掘と養成を進めていきます。



参加と救命講習の受講を進めるとともにチームNAMAZUの体制確立と新規メンバーを増やしていきます。

6. 技術技能の向上と処遇改善に向けたCCUSのビジョンを示し、産業と組合の担い手確保を進めよう

資格取得は建設労働者の技術・技能のレベルの高さを客観的にはかる事ができ、施工や発注者からの信頼を得るためのツールとなります。また、CCUSのレベルアップ判定と密接に関連し、建設職人の処遇改善にも直結していきます。2026年度も資格講習受講率4%を目指すとともに、受講率引き上げを後押しするために年2回の支部講習会を設定し、拡大行動と連携させながら受講呼びかけを強化していきます。また、仲間が講師となって開催する支部講習会の幅を広げていくためにも新たな講師発掘と養成を進めていきます。

7. “仲間増やし”と“仲間づくり”を両輪で進め

好循環な組織づくりと3ヶ年計画2年目を成功させよう

2026年度も「仲間増やし」と「仲間づくり」を両輪で進めていきます。組織拡大(仲間増やし)においては各専門分野との連携をはかりながらの取りくみを進め、2,000組織回復に向けた支部3ヶ年計画の2年目を成功へと導くためにも、分会の組織力を最大に活かした拡大運動で全分会の目標達成と組織実増を目指します。

8. 本格的な後継者発掘へと進める環境づくりと事業所の組織化

ここ数年、あらゆる場面で新しい顔ぶれが見られるようになり、一部の分会では役員登用につながる場面もありました。ただ、いくつかの分会では初参加者の報告があげられるものの先の担い手発掘にはつながっていない状況もつかえます。2026年度は各分会が新しい後継者世代の発掘を本格的に進めることが出来る環境づくりとして、「後継者イベント」の開催、「世代間交流」や「職種別交流」の実施、「分会内後継者企画」の推進、「群会議オルグ」など、分会が積極的かつ主体的に働きかけていくことが出来る企画づくりを進めます。

また、組織部が中心となり進める事業所対策としても後継者世代への働きかけを進めていきます。後継者世代の事業主、従業員やその家族など様々な角度からつながりを築き上げていき「事業所従事者の組織化」に向けて取りくんでいきます。

【3面に続く】

【2面から続く】
 9. 消費税減税とインボイス廃止を世論に訴え税制民主化運動強化
 参議院選挙では「消費税減税」や「インボイス廃止」を掲げた当選議員が推進議員を上回りました。これらは選挙で示された民意であるにも関わらず、自民・維新の連立政権が誕生して以降も黙殺し続けています。その一方で米国の要請には応えようと大軍拡と国民負担増にひた走る姿勢は、物価高騰に苦しむ続ける国民の声を無視していると言えようがありません。

経済対策として消費税（付加価値税）減税を行なっている国と地域は世界で110ヶ国にも上っており、一刻も早く日本も消費税の減税に踏み出すべきです。
 また、インボイス制度による事業者への負担が大きくなってきたとされています。消費税非課税であった事業者が課税業者となったことによる税負担や、その負担を押し付け合う事業者間の軋轢など、仲間の仕事に大きな障害ももたらしています。

私たちはこれ以上の国民負担増を許さず、インボイスの負担軽減措置の継続を求めるとともに、消費税減税とインボイス廃止を訴える地域・中央での学習、集会、街頭宣伝、署名活動などあらゆる運動を進めていきます。

「税務相談停止命令制度」が2024年4月に施行されて以降、私たちの活動はこの制度に取り縮まれる対象ではないことに確信を持ち、組合員に寄り添った学習活動を継続しながら仲間の自主記録・自主計算・自主申告を徹底してきました。引き続き情勢に応じて学習会や集会参加を通じて仲間の運動参加へとつなげていき、3・13重税反対統一行動の規模をさらに大きくしていくことを目指して税制の民主化を世論に訴えていきます。

10. 組織活動の一環として進める共済加入促進運動と組合員・家族の結集でつなげる文化活動
 憲法第28条で保障された団結権に基づき設立した「どけん共済会」は社会保障制度では十分に補えない部分を支える重要な制度として自主運営を行なっており、仲間の助け合いに根差した組合運動の基盤となつています。厚生文化部会や共済推進委員会などを通じて運動の意義と役割を仲間と共有しながら組織的に推進活動を展開していき、各種共済制度の加入率の向上を目指します。

第12回定期大会で表彰されたみなさん

長年に亘り支部の取組みに貢献していただいた方を、支部で推薦します。

- 【本部長表彰】
 小林 敏明 (牟礼北野分会)
 東山 文彦 (牟礼北野分会)
 【個人表彰 (分会功労者)】
 奥山 峰雄 (井の頭分会)
 東山 文彦 (牟礼北野分会)
 轟 二徳 (新川中原分会)
 沖野 紀年 (連雀分会)
 亀井 京子 (深大寺分会)
 清水 幸枝 (大沢分会)
 木村 慶 (吉祥寺分会)
 佐藤 勝見 (武蔵野中央分会)
 西根 みゆき (関前分会)
 高坂 将人 (境南町分会)
 佐藤 洋一 (けやきGC)
 田村 玲子 (女性の会)

レビなどが報じる情報と違い、仲間の仕事や暮らしに関する問題点や情報を独自の視点を持って発信するのが東京土建の機関紙活動です。現在、より多くの仲間を読んでもらうために機関紙「みちしるべ」をLINEアカウンから配信しています。引き続き支部・分会の取りくみや運動、建設産業に関わる情勢などを仲間と共有し合える紙面づくりに努めていきます。

また、地域の「仲間と仲間をつなぐ」存在でもある分会新聞の発行に当たっては、独自の役割を分会役員まで理解を深めていき、記事の投稿や編集の協力など、分会内で力を合わせていくことが大事です。「写真教室」や「分会新聞学習会」の開催などにより、分会機関紙活動に取りくみややすい環境づくりと工夫で、新規発行の後押しと全分会の定期的な発行を目指します。

12. 労働運動発展の土台を築く学習活動
 東京土建は、組合員一人ひとりの知恵と努力で10万人超えを組織する、全国で最大の建設労働組合へと発展しました。その土台を築くのに幹部

・活動家は、「たたかっつて学び、学んでたたかう」を念頭に、組合の民主的な運営と仲間の要求を組織していくための学習を繰り返していき、実践に活かしてきます。
 支部・分会・群それぞれの役員を中心に「分会四役・群三役学習会」で組合活動を、「ワークスクール」で労働運動を理論的に学び、情勢や自身が置かれている立場をしっかりとつかみ、役員・活動家が先頭に立った運動の実践へとつなげていきます。
 13. 諸運動を支える財政活動と仲間寄り添った滞納対策活動
 諸運動前進の担保となる財政活動を行うにあたっては、組織決定された予算に基づき正確な財政執行の徹底と透明性の確保が必要です。毎月の執行委員会においては決算報告や収支の特徴を報告、必要に応じた資産購入の承認などを行ない、四半期ごとに行なう会計監査などを通じて組合員から預かった財産を適正に管理していき、今後も仲間からの信頼を得られる健全な財政活動を進めていきます。



おめでとう入選
 仲間の作品コンクール
 写真部門
 受賞した安喰さん

- 安喰 祥子 (連雀分会)
 千葉たか子 (新川中原分会)
 高橋美寿々 (吉祥寺分会)
 山中 千春 (連雀分会)
 轟 二徳 (新川中原分会)
 山中 健一 (連雀分会)
 三澤 克己 (直属)
 大原 愛 (直属)
 (敬称略)



女性
 3月15日
 に支部会館にて21人で
 開催し、2025年度の振り返りと2026年度の方針を確認しました。

女性
 3月15日
 に支部会館にて21人で
 開催し、2025年度の振り返りと2026年度の方針を確認しました。



女性
 3月15日
 に支部会館にて21人で
 開催し、2025年度の振り返りと2026年度の方針を確認しました。

女性
 3月15日
 に支部会館にて21人で
 開催し、2025年度の振り返りと2026年度の方針を確認しました。



女性
 3月15日
 に支部会館にて21人で
 開催し、2025年度の振り返りと2026年度の方針を確認しました。

女性
 3月15日
 に支部会館にて21人で
 開催し、2025年度の振り返りと2026年度の方針を確認しました。



ガンバロウを力を入れて1位に輝いたデコレーション

雨のち晴れ、労働者の権利を守る 第97回メーデー開催

5月1日、今年も労働者の祭典「第97回三多摩メーデー」が開催され、午前中雨が降りしきる中でしたが午後はうって変わる晴れの中、約1300人が参加、支部からも54人が参加しました。

東京土建からは代表として渡辺義久本部副執行委員長が登壇し開会を宣言。

石村本部副執行委員長が三多摩メーデー実行委員長としてあいさつを行いました。

各労働組合や解雇撤回などを闘う争議団や、横田基地撤去を求める団体などが訴えを行いました。

メーデーとは
世界中の労働者が労働者の権利を求めて集会やデモ・パレードをおこなっています。1886年5月1日、シカゴの労働者が8時間労働制を求めてストライキをおこないました。1890年に全世界の労働者に対して、5月1日に8時間労働制と労働者の権利獲得のため闘うことを呼びかけたのがメーデーの由来となっています。

東京土建からは石村副執行委員長が訴えを行いました。その後、西園から吉祥寺の月窓寺前までの約2キロをデコカラーを先導で歩きました。物価高騰・資材不足で賃金が上がらない状況を変えようとして訴えました。

デコ作成にはアイデアを出し合い、遅くまで準備を行いました。世界各国での戦争が起きている状況の中でミサイルを撃ち込まれたビルを再現し平和を訴えました。

デコレーションコンテストでは7年振りに最優秀賞に輝きました。

今月の資格講習

《作業主任者など》
 ◇木造建築物の組立て等
 [講習日] 6月15〜16日(月) (木金)
 [受講料] 12000円

◇型枠支保工の組立て等
 [講習日] 7月16日〜17日(木金)
 [受講料] 12000円

◇コンクリート造の工作物の
 [講習日] 6月22日〜3日(火水)
 [受講料] 12000円

◇有機溶剤
 [講習日] 7月28日〜30日(火水木)
 [受講料] 18000円

◇職長・安全衛生責任者教育
 (リスクアセスメント含む)
 [講習日] ①6月20日〜21日(土日)
 [講習日] ②7月9日〜10日(木金)

◇熱中症予防管理者
 [講習日] ①6月16日(火) 午後
 [受講料] 7000円

◇振動工具
 [講習日] 6月4日(木)
 [受講料] 10000円

◇新入職者教育6月4日〜5日(木金)
 [受講料] 7000円

憲法九条、守るべきもの

雨上がりの早朝、春の光がまばゆいばかりに若葉が輝いています。

いまだに続くロシアのウクライナへ侵攻、またアメリカのトランプとイスラエルがイランに対して先制攻撃を行っている。

世界のいたるところで戦争の火種がくすぶり始めています。

私たちは毎年8月有志の集まりで「8月6日のあの日から」の朗読を行っています。

広島で被爆にあい身体の中にガラスの破片を残しても語り部をしていた出雲さんのあどを引継ぎ朗読をやっております。

練習もそろそろ始まりです。その台本の最後に日本国憲法第二章 戦争の放棄 第九条があります。

この憲法はどのようにして出来たか、第九条の誕生は勉強したのは遠い昔のよ

雨上がりの早朝、春の光がまばゆいばかりに若葉が輝いています。

日本の国は決して二度と戦争をしないように、一つは兵隊も軍艦も飛行機もおよそ戦争をするためのものは、一切持たないということ、これを戦争の放棄という。

放棄とは捨ててしまおうということ。いんさを仕掛けることは、結局自分国を亡ぼすようなことになるのです。

憲法は守るべきもの。大事にすべきものです。守れない憲法を持ってはいけません。

「8月6日のあの日から」一度覗いてください。10人ぐらいの仲間と2度と広島、長崎を繰り返さないと朗読で訴えています。

【連雀分会 麻生嶋初枝】

支部休館のお知らせ

下記の日程は支部事務所を閉めさせていただきます。皆様のご理解・ご協力をお願いします。

- ◆6月2日(火) 書記局会議のため
- ◆6月15日(月) 前日住宅デーのため



教育特別中熱丸の二特別教育 セット講習で

【日時】6月21日(日)
 午前10時から午後5時
 (受付開始は午前9時30分)
 【ところ】さくら館4階
 【定員】30人
 ※定員に達しだい締め切りです

【受講料】
 組合員 4000円
 非組合員 10000円
 組合加入が5月1日以前の組合員は資格取得お祝金が出ます。

第47回住宅デー各会場

分会	会場	分会	会場
①井の頭	井の頭コミセン	⑤吉祥寺	中央通り公園
②牟礼北野	牟礼コミセン	⑥武蔵野中央	武蔵野中央公園
③連雀	連雀中央公園	⑦関前	井口建材
④深大寺	深大寺公会堂	⑧境南町	境南コミセン

※包丁とぎ、まな板削りは事前予約制となっております。(まな板削りは行っていない会場もあり)ご希望の方は支部までご連絡ください。

解体等
 [講習日] 7月2日〜3日(木金)
 [受講料] 12000円

※申請について注意事項あり。詳細は、支部へ

◇職長・安全衛生責任者教育
 (リスクアセスメント含む)
 [講習日] ①6月20日〜21日(土日)
 [講習日] ②7月9日〜10日(木金)

◇熱中症予防管理者
 [講習日] ①6月16日(火) 午後
 [受講料] 7000円

◇振動工具
 [講習日] 6月4日(木)
 [受講料] 10000円

◇新入職者教育6月4日〜5日(木金)
 [受講料] 7000円

◇足場作業主任者能力向上教育
 ②6月29日(月) 午後
 [受講料] 15000円

◇特別教育等
 [講習日] 6月18日〜19日(木金)
 [受講料] 15000円

◇新入職者教育6月4日〜5日(木金)
 [受講料] 7000円